

地域経済概況

No.624

2023年 4月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【4月】

《景気判断》➡「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

- 総括判断は、前回判断を据え置いた
- 個別指標においては、すべての項目において前回判断を据え置いた

(個人消費) ➡ 緩やかに持ち直している	(設備投資) ➡ 持ち直している
(輸出) ➡ 弱含んでいる	(生産) ➡ このところ弱含んでいる
(企業収益) ➡ 総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかに なっている	(企業の業況判断) ➡ 持ち直しの動きがみられる
(雇用情勢) ➡ 持ち直している	(消費者物価) ➡ 上昇している

📈…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 📉…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【2月】
平成27年（2015年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	94.9 (94.8)	+4.6	92.0 (91.9)	▲0.5
出荷 (速報値)	92.7 (92.4)	+3.9	90.4 (90.1)	+0.9
在庫 (速報値)	103.5 (103.6)	+1.3	104.2 (104.3)	+2.2

(経済産業省調べ)

- 2月の季節調整済指数（前月比）は生産、出荷および在庫のすべてにおいて上昇
- 生産で上昇した業種…自動車工業、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業ほか7業種
- 生産で低下した業種…化学工業（除、無機・有機化学工業）、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業ほか3業種
- 製造工業生産予測調査によると、3月は前月比+2.3%の上昇、4月は同+4.4%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【3月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	378,557	+15.7
軽自動車販売台数	193,937	+4.5

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 3月の普通自動車等販売台数は前年同月比3か月連続の増加、軽自動車販売台数は7か月連続の増加
- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は572,470台（前年同月比+11.6%）で7か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【3月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		4,658	+9.8
主要5品目	衣料品	1,352	+9.9
	身のまわり品	748	+17.5
	雑貨	930	+11.6
	家庭用品	175	+1.9
	食料品	1,178	+4.4

(日本百貨店協会調べ)

- 3月の売上高は13か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+6.3%で13か月連続の増加、インバウンドは同+323.8%で12か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+12.8%で18か月連続の増加、10都市以外が同+1.7%で3か月連続の増加

■スーパー等大型チェーン【3月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		11,178	+1.5
部門別	食料品	7,635	▲0.6
	衣料品	701	+2.8
	住関連品	2,023	+0.3
	サービス	21	▲10.5
	その他	796	+29.6

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で2か月ぶりの増加
- 節約志向の高まりから買い控え傾向が強くなり、食料品は厳しかった
- 衣料品は卒・入学関連、ビジネス関連がまずまずの動き、住関連も外出関連商品の需要などもあり動きが良かった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【2月】

	戸数(戸)	前年同月比(%)
総戸数	64,426	▲0.3
利用関係別	持家	▲4.6
	貸家	+4.7
	分譲住宅	▲1.8
	マンション	+0.2
	一戸建	▲3.3

(国土交通省調べ)

- 2月の総戸数は先月の増加から再びの減少
- 前年同月比は持家は15か月連続の減少、貸家は24か月連続の増加、分譲住宅は3か月ぶりの減少、分譲住宅のうち、マンションは3か月連続の増加、一戸建住宅は4か月連続の減少
- 地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲5.9%)、中部圏(同▲16.8%)、近畿圏(同+20.3%)、その他地域(同+4.3%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【3月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	141,016	▲15.2
内需	49,365	▲18.1
外需	91,651	▲13.6

(日本工作機械工業会調べ)

- 3月の受注総額は3か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を26か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【3月】

	倒産件数	負債総額
	809件	1,474億円
前月比	+40.2%	+52.6%
前年同月比	+36.4%	▲13.1%

(東京商工リサーチ調べ)

- 倒産件数は12か月連続で前年同月を上回った
- 負債総額は2か月ぶりに前年同月を下回った
- 新型コロナウイルス関連倒産は318件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【4月】

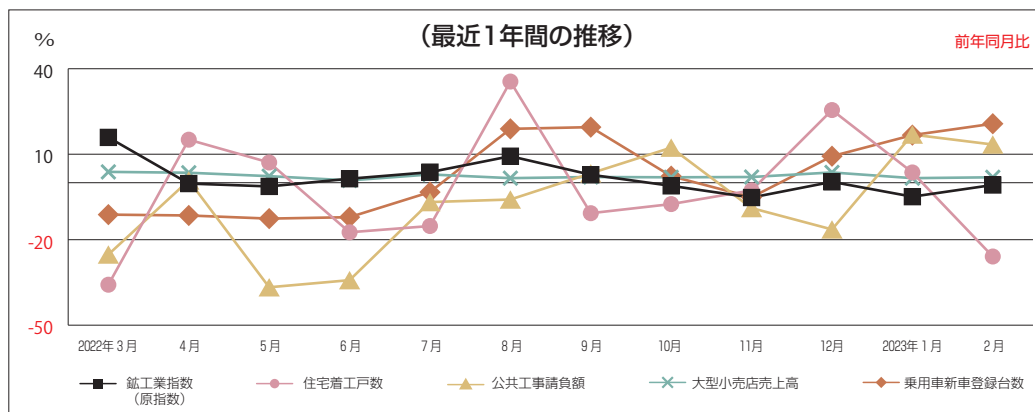
《総括判断》➡「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている」

- 「総括判断」は昨年5月に発表した概況判断を11か月連続で据え置いた
- 個別の判断は全ての項目において前回判断を据え置いた

(設備投資) ➡ 増加している	(個人消費) ➡ 新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、持ち直している
(住宅投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている	(公共投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ➡ 高水準ながらも、一部で弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🟡…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



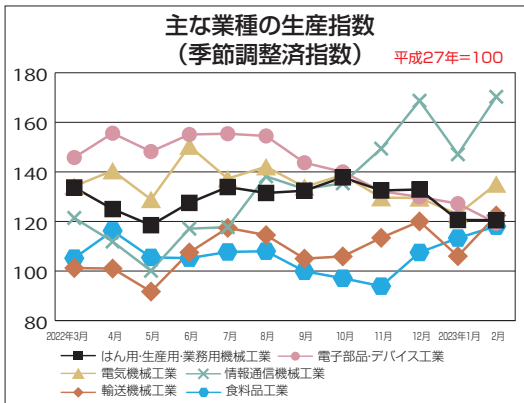
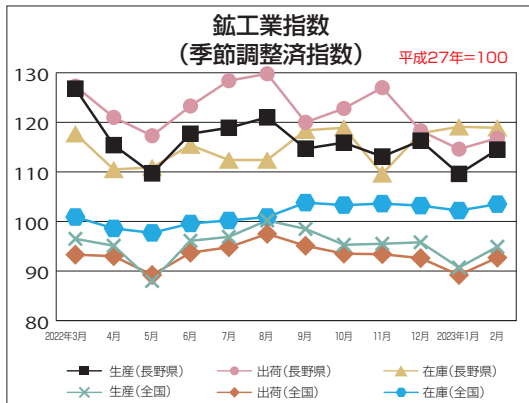
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【2月】 平成27年(2015年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	114.5 (109.6)	+4.2 (▲7.1)	113.8 (101.4)	▲0.8 (▲4.9)
出荷 (前月確報)	116.8 (114.7)	+1.8 (▲4.7)	115.9 (104.5)	+0.2 (▲5.8)
在庫 (前月確報)	118.9 (119.2)	▲0.3 (+0.3)	121.4 (125.2)	+0.6 (+9.2)

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産は2か月ぶりの上昇、出荷は3か月ぶりの上昇、在庫は3か月ぶりの低下
- 前年同月比 (原指数) で、生産は2か月連続の低下、出荷は2か月ぶりの上昇、在庫は17か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…情報通信機械工業、輸送機械工業、電気機械工業ほか8業種
- 生産で低下した業種…電子部品・デバイス工業、化学工業、窯業・土石製品工業ほか3業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数 【2月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		702	▲25.9
利用関係別	持家	394	▲34.0
	貸家	206	+9.6
	給与	1	±0.0
	分譲	101	▲37.7

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は3か月ぶりに前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は2か月連続の減少、貸家は2か月ぶりの増加、分譲は8か月ぶりの減少

■公共工事動向 【3月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	37	8,830
独立行政法人	5	339
県	74	2,741
市町村	62	3,435
地方公社	1	17
その他	14	879
合計	193	16,242

(東日本建設業保証調べ)

- 3月の請負件数は前年同月比+4件、請負金額は同+13.4%であった。また、請負金額の発注者別では国(前年同月比+102.9%)、独立行政法人(同+10.0%)、市町村(同+8.4%)で前年同月を上回り、県(同▲46.5%)、地方公社(同▲19.0%)、その他(同▲34.3%)で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数 【3月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	7,109	+20.7
軽自動車登録台数	5,453	+13.3
全体 (二輪車を除く)	12,673	+16.8
自動車保有台数	1,883,048	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は3か月連続で増加、軽自動車は10か月連続で増加、全体では7か月連続で増加
- 2023年3月末時点における自動車保有台数内訳…登録車947,511台(前年同月比▲0.3%)、軽自動車898,435台(同+1.0%)、二輪車37,102台(同+3.7%)

■大型小売店売上高 【2月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		19,189	+1.9
内訳	食料品	16,564	+1.0
	衣料品	879	+17.8
	雑貨・その他	1,746	+3.2

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は17か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、総菜や菓子などが堅調だったほか販売価格の上昇などもありプラスとなった
- 衣料品は、春物の出足が順調だったことに加え、まん延防止等重点措置が適用された前年の反動などもありプラスとなった
- 雑貨・その他は、化粧品などの売り上げが増加した

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【2月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.51倍	▲0.06pt
全国	1.34倍	▲0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【2月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	18,465人	+8.2%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【2月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	7,856人	+8.7%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.17ポイント上回り、全国順位は13位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は49,196人で前月比▲0.8%の減少、有効求職者数は32,641人で同+3.1%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…卸売業・小売業、不動産・物品賃貸業、宿泊業・飲食サービス業など

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は4,734人(前年同月比+6.6%)、パートは3,079人(同+12.2%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【3月】

	倒産件数	負債総額
	8件	886百万円
前月比	+100.0%	+440.2%
前年同月比	+14.2%	▲26.2%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では中信が3件、東信と南信がそれぞれ2件、北信が1件

☞ 業種別では建設業が2件、プラスチック製品製造業、汎・生産・業務用機械器具製造業、その他の小売業、不動産業、学術研究・専門・技術サービス業、飲食業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

エイブルネットワーク 株式会社センデン主催

参加費 無料
(予約制)

「貸貸経営オーナー向けセミナー」に 金融機関として登壇します

テーマ：これからの貸貸経営に必要な物とは

- ・ 長野、上田、松本、諏訪、飯田の県内5拠点で開催し、エリアの貸貸動向～貸貸経営のノウハウ、税理士による相続対策まで幅広い内容を取扱うセミナーです。
- ・ 長野銀行では、資産の運用～相続・贈与対策まで幅広く、分かりやすくお伝えします。

○セミナースケジュール

日程	会場
5月20日(土)10:00～12:00	紅や(諏訪市)
5月27日(土)10:00～12:00	松本市勤労会館(松本市)
6月3日(土)10:00～12:00	JA長野県ビル(長野市)
6月17日(土)10:00～12:00	シルクホテル(飯田市)
7月15日(土)10:00～12:00	上田市勤労者福祉センター(上田市)
7月29日(土)10:00～12:00	松本市勤労会館(松本市)
8月5日(土)10:00～12:00	JA長野県ビル(長野市)

※くわしくは、エイブルネットワーク各支店までお問合せください。

